

2026 年 7 月 1 日

八木 圭介 様

〒276-0020

千葉県八千代市勝田台北一丁目 11 番 16 号

株式会社地域新聞社

代表取締役 細谷 佳津年

質問状

株式会社地域新聞社（以下「当社」といいます。）は、2022 年 10 月 24 日開催の取締役会において、当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針を定めるとともに、当該方針に照らして不適切な者によって当社の財務及び事業の方針の決定が支配されることを防止するための取組みとして、当社株式の大量取得行為に関する対応策（買収防衛策）（以下「本対応方針」といいます。）を導入することを決議し、2022 年 11 月 24 日開催の第 38 期定時株主総会において承認を受けておりましたところ、本対応方針は、2025 年 10 月 17 日開催の取締役会において所要の変更を行った上で更新する旨決議され、当該更新は、2025 年 11 月 30 日開催の第 41 期定時株主総会において承認されております。

その後、当社は、2026 年 1 月 16 日付け「当社株式の大量取得行為に関する対応策（買収への対応策）に関する共同協調行為の認定についてのお知らせ」（以下「認定プレス」といいます。）でお知らせしましたとおり、同月 15 日開催の当社取締役会において、当社独立委員会による勧告を踏まえて、MTM Capital 株式会社（以下「MTM Capital」といいます。）、合同会社 YN 企画、バイオセラミック株式会社、合同会社 Happy horse、KING 有限責任事業組合、静岡エネルギー株式会社、株式会社日本シーサプライ、中谷正和氏、野本豊氏及び鈴木祥元氏（以下総称して「認定対象株主」といいます。）の間に「当該株券等取得者等と当該他の株主との間にその一方が他方を実質的に支配し若しくはそれらの者が共同ないし協調して行動する関係を樹立するあらゆる行為」（以下「共同協調行為」といいます。）に該当する行為が行われていると判断いたしました。もっとも、2026 年 5 月 29 日付け「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり、上記判断を公表した後における認定対象株主の株主名簿上での当社株式の保有状況等から、認定対象株主は、上記共同協調行為の認定を受け、本対応方針に基づく対抗措置の発動を回避すべく、自己名義で直接に当社株式を所有することを避けつつ、当社株式を、信用取引の買い建玉の形で実質的に保有し続け、場合によっては買増しも行っている可能性がある」と推察されたた

め、認定対象株主が実質的に所有している当社株式に係る議決権割合を明らかにすることを主たる目的として、当社は、2026 年 6 月 25 日を基準日として、株式分割を実施いたしました。

このような状況下で、貴殿は、2026 年 6 月 25 日時点の当社株主名簿において、当社株式 106,000 株（持株比率 1.23%）を保有する株主として記載されておりますが、①貴殿は、認定対象株主に含まれる MTM Capital の代表取締役である嶋田智樹氏が同じく代表取締役を務める株式会社 MarketiX の従業員として同社のウェブサイトにて紹介されております。また、②貴殿は、クラウドバンク株式会社（以下「クラウドバンク」といいます。）の 2016 年 9 月 30 日現在の第 3 位株主として登場しているところ¹、MTM Capital の取締役である能勢元氏が代表取締役を務める東京フィナンシャル・アドバイザーズ株式会社は、第一商品株式会社の依頼を受けてクラウドバンクの株式価値を算定したことがあります²。さらに、③MTM Capital の代表取締役である嶋田智樹氏は、クラウドバンクの子会社であるクラウドバンク・キャピタル株式会社の取締役を過去に務めていました。そして、クラウドバンクの完全子会社である日本クラウドバンク証券株式会社は、ピクセルカンパニーズ株式会社に太陽光発電事業の事業資金を融資していたところ、認定プレス別紙に記載のとおり、ピクセルカンパニーズに関する過去の取引等には認定対象株主が関与しています。

以上のとおり、貴殿がウェブサイト上で従業員として紹介されている株式会社 MarketiX 及び貴殿が第 3 位株主であったクラウドバンクを頂点とする同社グループ各社は、MTM Capital その他の認定対象株主と密接な関係を有する企業であるといえ、そのような企業と関係を有する貴殿についても MTM Capital その他の認定対象株主との関係性が疑われます。

他方で、MTM Capital は、2026 年 4 月 22 日付け大量保有報告書提出時以降、当社株式合計 416,900 株を市場内で取得し、2026 年 5 月 13 日から同年 6 月 18 日の間に当社株式を急速に買い上がり、2026 年 6 月 18 日時点で当社株式 800,400 株（株券等保有割合 9.55%）を保有するに至っています。

このため、当社として、貴殿が MTM Capital その他の株主との間で共同協調行為を行っているか否かを判断する必要が生じております。

つきましては、当社において、貴殿が他の株主との間で共同協調行為を行っているか否かを判断するために必要な情報と考える下記の各事項につきまして、**2026 年 7 月 8 日（水）までに当社に到着するよう、書面にてご回答くださいますようお願い申し上げます。**

¹ クラウドバンクが提出した 2016 年 12 月 28 日付け半期報告書参照。

² 第一商品株式会社が提出した 2020 年 11 月 30 日付け有価証券届出書参照。

ご回答の際は、署名・押印のうえ、当社宛に書面でご提出ください。

なお、本書面及びご回答内容は、当社が必要に応じて公表することがあり、また、関係官公庁及び捜査機関等に情報提供することがありますので、あらかじめご了承ください。

記

(1) 当社株式取得の経緯

- ・ 当社株式の取得（信用取引による取得を含みますが、これに限りません。以下同じです。）の経緯、取得開始時期、取得目的、取得資金の出所（資金提供者名・調達方法を含みます。）、取得開始日から本質問状受領日までの間における当社株式の取得及び処分（貸株、借株及び空売りを含みます。）の状況並びにその経緯についてご教示ください。なお、資金提供者が法人である場合、当該法人を実質的・究極的に支配する自然人まで遡って資金提供者をご回答ください。
- ・ 上記質問に関連して、頭書のとおり、認定対象株主のうちの1社である MTM Capital と近接ないし重なり合う時期に当社株式を取得するに至った理由について、具体的にご回答ください。
- ・ 当社株式の保有に関する現時点での方針（追加取得・保有・処分の予定を含みます。）についてご教示ください。

(2) 当社株式に関する意思連絡の有無

- ・ 第三者（認定対象株主を含みますが、これに限りません。）との間で、当社の株式取得・議決権行使・提案行為等に関して連絡・協議・合意を行った事実の有無及び該当する事実がある場合、その具体的内容、関与時期及び関係者についてご教示ください。
- ・ 上記質問に関して、特に、頭書のとおり、貴殿が、認定対象株主のうちの1社である MTM Capital の代表取締役である嶋田智樹氏が代表取締役を務める株式会社 MarketiX の従業員であることや貴殿が大株主であったクラウドバンク株式会社ないしその子会社を介して認定対象株主との間で人的関係の存在が窺われることから、貴殿と MTM Capital を含む認定対象株主との間の当社の株式取得・議決権行使・提案行為等に関する意思連絡の有無及びその内容について、それぞれ具体的にご回答ください。
- ・ 第三者（認定対象株主を含みますが、これに限りません。）との間で、当社以外の会社の株式取得・議決権行使・提案行為等に関して連絡・協議・合意を行った事実の有無及び該当する事実がある場合、その具体的内容、関与時期及び関係者についてご教示ください。

(3) 当社経営への関与方針

- ・ 当社に対する提案行為又は経営関与（取締役選任、資本提携、事業提携等）の意図の有無についてご教示ください。
- ・ 今後、当社経営方針に関する発言や議案提案を行う予定の有無についてご教示ください。

以 上